

【活動の主題】 中庭活性化プロジェクト

【副題】 Enjoy Together ～七色のつながり～（みんなが笑顔で楽しめる学校づくり）

【学校名】 守山市立明富中学校

1 本校の概要

今年度で創立 35 年目を迎えた本校は、「心豊かでたくましく、人生を切り拓く生徒の育成」を教育目標として掲げ、生徒一人ひとりの成長に寄り添う教育活動を進めている。

本校の特色として、特別活動が大変活発であることが挙げられる。生徒会を中心に行事や自治的活動が積極的に展開され、学級づくりでは話し合い活動が日常的に定着しており、生徒は自分たちの学級や学校をよりよくするため、互いの意見を丁寧に聴き合いながら課題解決を進めている。こうした話し合いの文化は、生徒の主体性や責任感を高める重要な基盤となっている。さらに、本校の取り組みには、日々の活動や行事を通して得られた生徒の声を積極的に取り入れる姿勢がある。学校運営や行事改善において生徒の意見が反映されることで、学びの質が高まり、学校への愛着や参加意欲にもつながっている。

2 取り組んだ内容

(1) 生徒会の思いを受けて

中学校の校舎の中心には、毎日、誰もが目にする「中庭」がある。かつては生徒の憩いの場として活用されていたが、老朽化もあり、当初は誰も寄り付かない中庭となってしまっていた。

今年度、生徒会は「 Seven Color's」を生徒会目標に掲げ、みんなが楽しめる学校を目指している。5月に現在使用されていない中庭を活性化し、生徒の憩いの場にしたいと提案があった。生徒会が目指す中庭は、生徒が自由に楽しむためのスペースとしてリラックスできるようにし交流を深める場にするとともに、保護者や地域の方にも様子を知ってほしいという思いであった。その思いを受け、学校全体だけでなく地域全体のコミュニティの強化を目指していきたいと考えた。

(2) 動き出したプロジェクト

「 Seven Color's」の対象を「①1年生 ②2年生 ③3年生 ④教職員 ⑤保護者 ⑥卒業生 ⑦地域の方」とし、全員が笑顔になれる取り組みを数年かけて行おうと考えた。初年度の活動は中庭にリラックスできるスペースを設置し、生徒が自由に使える「ストリートサッカー場」の設置を考えた。中庭の草刈りを

行ったのち、中庭の一部に芝生をひくために県内の企業の協力を得ることができた。また、ストリートサッカーゲージ（8角形）については、村田 和哉さん（守山市出身の元プロサッカー選手）に協力いただくとともに、その費用については 2025 年度弘済会滋賀支部学校教育活動支援事業の助成をうけた。



3 活動の成果

9月1日に全校でお披露目式を行った。卒業生や協力いただいた方の思いを伝えていただき、全校生徒が見守るなか、教員チームやサッカー部員と村田 和哉さんのプレイを全校生徒で楽しく観戦することができた。

その後は、生徒会で使用ルールを相談し、縦割り団で活動日を区切ってサッカーを楽しんでいる。中庭という立地の良さもあり、楽しんでいる様子を1階～3階の窓から楽しんでみている生徒も多い。

中庭活性化プロジェクトについて、みんなが見える、みんなが使える場所、みんなが笑顔にできる場所に近づくことができた。今後、老朽化した木製ベンチの修繕など新たなプロジェクトを考えていくとともに、地域の方にも活用してもらいたいと考えている。学校が地域のつながりの場となるよう、数年かけての取り組みになるが、実現に向けて頑張っていきたい。

